823 M8N2

地で 幻 41

Free G. Bank & Far. Westury on D. C.

五十二嵐 五月十四日夜太阳君後奏 方月見心ぎ给多 明回遣偷息於明石清方夏 外方は明石市方给市物務支 六名院的入道文件方给多 与文爱二条院格必给变二月對新红極歷夏 中心是多生十一般是夏 六祭院思代奏给宴 中仍言為中的為人人人 善智智的心灵都六年院徐支 差矣子差 是的给多 善五人人

中的君都看看你多 七久依花裁之露夏 八月十五夜以上因忌佐養松子受施罪多

九月見動鄉後支

十月時而空雁鸣饭支

十一月立為日大福君以中福老人かる名奉名客院支

被旧及古客给支

事為完然 為養樓有其儲奏

佛名之支

五千二屆 女正是所有

中的官馬中西高班門施司

日本の日 山田 二十二十二日

礼方以 飲為七名

てころ とときているようかできる一番のは氏は一人の付け 了了那位名家吃代出的的可见了人人 十二月ぞくりとうりを次かるのだうり作るいよう 公台市信的次代年后民五十二支的时间一个大学高月 河ろろえとうり いる少になりゆう かろしるりにためむいり

次かりまったりはなととうのきつうたんり んなりいちり 松方少是一个人好了人的成立十二大的五日 し月なにはる方な ナニアン

はて一場との病間の次光くなれたいなとうるときられて 同金やではないできれるかいはいるがあるとう 冬台はかで年中十二百~具了教了着四声 行を写着が

すなりるとうとうとうしたれてくて までとういうころうしかくちゃのなのだりにいいるのでつう うしてけるからして ほのかっと出めてるとは 名於でき といきといのなってるようとうとう名をめれるの地では、ないので がかられているかりたかりたとかりたいたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりになっていたかりにはいいからいからいからいからい がなっちられるろうまっている 好事公务人是好一个 をなっているとうとうとうとう まれりるすりくとりらり ゆとうないまするないまできる くてかとくらとうか いろのきろ

The state of the s

ちうちいめてしまると出めつる りにゆくろうというかんであるかんであるかん かりのありんであるのとのではまると思う ゆきしたうくんでもうかと かりりる気がいしてる 必中にはあというとかろう 美でいるしなりくくんでくらりしといろいち はちなりでる人のだいらりしのはいうりにから してなってはのろうちとかりょううにはてちば 11りからろうとこうかりやし うろうなるとくとうり たずりのなかりあれるような なないとろうよしまったあけてらる面白やしい きんいるものしてからかりあるかい しきとなってす しつりけんとん ゆしてめるまちりなるよくなくうい をいめりなる。 好名記で文の赤 八月降一友紀だっず しのたん はくなりさるち しは名のできる ずる らんごう ( 50 / のかって

おはってきるかれのかりとさいりまか るなっくともいうありんせりりつい そうにあったいろうし そんれのとうのかときうり ば気がありありため するやりしかかろう ひつうりきあまりか むとしてりつつい は曹司シーといわり かりいけっとかられのるあっていたかるとろう まとちっというというというというという ならとめんううりの ことあんい中りくろい出一ろんでりと からとこれいまりとれれない 1-4 松楼安地勝川為ないる le con 多多種順覧なしる といめとうますしのる 3 かも 100 3 a

ははといりきいろんとかりいいころとかりかり 神のしてきらんでくう きいのもろうり うてきていてうくろうしたをうりの世で かなちにうちなり 個男子とは一色めますりてたろう るんろうまでい られたらんのうらううりい他のきりとい おりいきりょう 多つかのなり らう我はよいゆきろうれあんりんろりんりんとるかにとるか なのうというとはいうとれんとうとけってくめてい ゆるとなったいるとりとうかろうなんとります 似多なななとなり おもだけらいちりくますりの異とのようとう 2つくろりくろりにありたちょう てつかんしてくてかかんと のせて行う りまるがり してんり

中心のまとくてつかってゆどちいてくられ 佛なくのからてるまつりまるのというとうとうとうとうとうとうないのはきんはなくとうと めるうにくうしているから とおろれのありるとものの 公中る君ところまいくのすりかられりり ててからくく かりあるをろくと 後老りりの民民は自己 お門はを後の歌 後はくてくてくとうのかつろうというり そんのめとしくまっとうからりとうなんう かろろいかかりるすり 我, 本本更多的一人像の一个的事了的 しのころくり くうりはいとの中るとれるとない 三五日五四八 到了了 君ら りそくてるる おれるとん

ちと根的のなったとろんといかあれていか 的文選名馬衛指青發 でのはいていりりかりいとうろうなるとれてい なるったいうちゃんのうととろうら 国部書作勢看時作馬衛年深產烟之松雖老龍老露暖緊脆好過過以又馬衛封之謂也俗同為本朝久棒步二云营贈大相的發於了屋而早也見治各首矣好此而長後若谷者仍不此也被於今之川库也見治各首矣辦些方數上而長後若谷者仍不以 别者食於子隻子隻云聖人之產人子聖人也何規写者者是問題者食於子隻子隻子隻之聖人之產人子聖人也何規写者者是 ろいおしかけられる 好えしいう傷との多とある人のうろんの できるうろうとく中心をしていとめていとろ ありとめできんとのできているかゆくうというから うではとうあいるといろうるというのをとなる人かん ってくったとろうといってたりる場とうころちろう 文選するな気になりうめいまといろけらうるな風いるのうて 紀記松 号篇云孔子之喪有自然來 争文選与こ てれんしょうなと りんとなる おとはかとける かったくろ

祭下物沒公以不时仍署之外於屋面風土記云香鳴郡内:童子女松原下云丁下午乃就居喪踰別權松杨成行 繁慶豹云老長也良路本於墓边權松鹽禪廣州先質仍云頂琦至孝母喪独立系五粒者名五粒松 豫章記云雀孺子墓在郡南時杜 めでうくうういおろしかかりううきて るなりあいなどとういかりくうからりのとうらんかんかり 水原的る大なぶ人の夢できるしいいれてあり 至之ばとゆるるるけらうとかありからにちかりろうち らうくりしてるとめのはう労後成は発養させる るとうくろいる男はちしまかっているかんといとい うん中るまかりいうろうんろうちの そうろれてる気なとろうんはち 石门中仰視之離人縣壓尾號為壓尾松两鎖異悠如 之草再新太平御覧云尚景式庐山記云门嚴即松林也 いりきょういけんとしりまるを 人はとれり いてるととい 馬 南 氣又 墳麼 守徐

くなむっつんかとろうりいかくよるあるきい かしいかいろうん かってのあのとちまでといるのまのる人でいきから らいをかくのうだろれかりとうろうしたとのかく つうかーキ くるうりのきのであるりる 要に大かないりょうりり 多慈傷ならき年とういうううろう それくれいろくろくろろんな外へ不見 松口心心无的後傷寒とれました多人了るととろうの成文意思必然感感就出答的とおろううあいといめた のかるまはいとのうでいちはりとはかをあるも たくうりをいろうないははうろうにをく うるろうるれてくれのかりつうる るてがきっときいいとううるけれる 村的明心多珍多多人了风秘記る 見しばというかるるろうろ 領 ~世间の引之 **一庭客自民定集** 松魚八着客で いる魔で うれてちのうう めていま

横てたりるのちりりもちゃるしまったり 奏うる地とはそうりる名地あり うろくなのそれやう 行うといる的 写行しらう一杯不ら 之多人 きりきなん たくて多いしついく 三月の多人内了一般明石中一条市场等 いてあるんと 多いなのちりしてけれていらくつろうととは気 多名で、もいかとせるおるものあり ろかりよれそもらからあるとくのなって かるにんることかりう のようくい二年もうくのの おるからのないもののかうるをとしい あのずんと 一百つくろせり 圣聲華 朗詠 がなどの変え でを見 美儿三 かりてきぬ 力之多地の梅と 力電

まっくかりゆくすりにをとりりるをためる かくのろうめいよ 二年去年多多的七二年吃了一個人人的 かつるろうるちろうると りるますうろうてうしいろう うくさろうらを変色きて、大概和名棒花 これをめかいを れめかろくうるといんと かは残りろころをしてりてろうちょうりさ なくきれくとうろうろうろう 美にのあるとろとちとけててったとうとういるからいあり まれてるとれて 三月しょうつきりとアインうり 是那代多切 多世中心之小方年地三多地人分からくる してもろうさあるいめる してようりんと お多化であれた 多又名多花の ほするむかりり れより 明の食品いあ の物はのあるると とかとまり は多多地のなど と幻れれん ちきつ

らのしておかして 大人大多的一大人 モイルーとのくいまつ 食とり人ののいまりり 君一ちとうになんでするとうとうとりては色まった あかかりかれんとあれんかり 似りから、日はかなるるとろうはあれてとるめろ 本代的人了了了一个人们要准备家院原白成文集 牡丹芳本代的人了了了一个人们要准备家院原白成文集 牡丹芳 ちたくるかりてうりんかとうかるでうりればなします 必善穆京再宫中花用以重演後蒙被網經置吾所史學之号指告 3 とりるまろう きとうじきるは名面のるすりましたる してあっているかってうりんれてもうかってるちまりますりかり 今事とまれらうりりのうれるてもられるればないはないけ 言言ののる事 であるか がけるととろうい ないものまつい あしえるとかで . 1 たた

ずるてかくりてろうあり ちんろのうううでするか かかってはまろん ううながきるとろうのつのなりにてあるたろうと きいのなりのかりかり りんとないで があったのかりとストのうてしるうろ 一丁的一个多一多人多於之對於程嬰多版人之 まっちううきる会会ないる声がりの 事で言品作の後的を忘れるとろう で始悉今会が考に係るで書と眼三十日眼一年子不ど高考元日服となける今日の多ります。 にいいないのかりますりますることのあるとの形と はまるいできるとこれであるするい 在日本化 1 いまってるのあるるななの人と うないでもしてあるるとてならと うってく 客之名には食べいかとり けのれず時し るする あーろう ているまななと

多うなからうしていうりるるともありしくあける 大行るといるとは気をいけりくなるといれるのるななから るろんとでううをみのるをかめかろうと高家るち 月でるい意に会うとこれの形に治るいちられていたいとるし

そのついろうをきりきますりくよのつのでうる 三月あうついろうののとしてあるとしりんだをとと 今天一後地でたいり 私の公子 逆をかりずられるうちりる二をとれてのそきてとかとうける きくているとてるカック年なとるめつらい 万和四家養一該羅及色とるが信食客色集降と利心 ーいろのかんろうと 一重明記るい

のんまくもしやまったというり くいちくわしやまってんあきんれるとくめ まといかとしめって不るかとしおりの お養みが教人 るとうからみのやと あんっちつつと

まるののかうろうとやくているのうか あんむのゆうろくのあるとはちんはちんよれませ これのとうかの たいのまくれかけているるではあるいまとんりの まりからりしんないとん りえらくないりかく かりますりはかしてりかり くちろ 入極文がでというりの らってるりかきないっていりんしい 経きると らくさるなるにんされる 名名で かんなきまりまする人人のから そんいってぬっと言葉でするとろうとろ 二条化了了多年地一个了多路的 名とあとむりにおういかかくしくろんのれる くすいとうれてとるうないりろうないとという るずなぞうは何ろうり 与多 よる多をとろ るなとろう かめとうろと うら多り

代のとけってきるかんりと なりいるししんかとかく 多くであるからりいるおはの再して 经民色色色的形式了了一卷的月的二看多了 多なこのととろい出のようであくとくとろ さからろうろういろととうなりているとう 多ろろくしていいかのかるうけかり きろうりたきくしたというるとう 女きつうとはいうというというとう ためといろしてる 好人人人的公司的色的一个女主教的公里作 るとろう出のあっていているよう ているようないといわりるけける数の後と地心を のくと うんとうつろうりしょ とのかりりしとれる水がかというれようにとう 一きてでいんかくととなりくらい 一きありりつうとろる場 なとまれてあるっとっちとあ \* すっけてもはるとい 一方のもできる 教之行用侵分 七名を丹する そろ にきた

すかられれるのかり ころううちんとうなどうからかりかりからいちい みつうかぬり はわって 命でもううしまてのから、ちかっとてのかくうべきな まないるととはりくまくしろうとしるというとう なはたろうりかいしるとろうしてはくれている かりのうくうくちっとかりてを 歩りから るりてなくしろしめしからか ううかいいとうしゃううりゅうかって ーできりのようにかりてのその はなどに作るたり をはっとくろい出す いめもつ 女を多い 内でき

まっていっくいとろうんできるんとかはっていっていっていっていっていっていっていっていっているとうにとかはいてもてい ちっといくかしいろううかしけるかってる さるりにあるくうか のなどのうのかのないというのないというできているのできているのできているのできないというのないというのないというのできないというのできないというのできないというのできないのできないのできないのできないの まっくれくらくと、世とれくのると いるないりからしきとははしていまりなかとう うるようはかりかりなられるととくなってある ろううのはませめかりののののうときな ではったちかかりありるくろうんあったか 他世でもしまりつないと言いるようとれもの人を あくたかろうのめるりのかんち はきるとろろを 一多のかしるぬうろうに を年 かけれるからいっ (路平理他〇〇〇) 高军 がなると は行くれるべ にせてし

そんかりを変せるといううのはまとろう おりいるきゅうてきるとろうといっているとう なるとくてできるううなとはろうろうない きせとはらくろかんりとしているかかり きかりまれず一般のようなのからなるられる きてらくをあってるのからしたむちにそろのかり かできんのとなる。むら他のにてとり一遍いるとなって 到うくすらしてくろうとと変なりあり かしてるいりからくろう となるころととならたではないはするに今年あるかかちち よけんやとうそうとはまでのいる 1030 更为了る かんかっからりつむくくろごろ ーくまつつ なん れたから と式え りたあきであれい ないできていて りぬめとあ 地位 しずとほう 零级

ううそうりろくなろしら ちんちくれきしたもろ からららいのきくろん なをまなり 公ろうてしかりり せのうくてあつうかいかっちいとううとろかいから 多明石中文殿の文八色でとらきの人をきる えりからしん多からり なくうにあしきからり 多為多之月1110000 ときるううながれるるでと 像」後となるとうでののかり後よく るなむとるとないりのとうとうころなんあろう しかくてしかられて 了一个人的要性了了了 经餐中门 ららないかくの格 をはあどのる E るるまれる いてろえとかてを 大型人 は名 あくさんかい

かかれなる ちるのは 後、などと ちをあいか はあったくく りとおかい もえるととは のおんち なかしれ るとうした 一角的"三天" 君のとこ よけず よわり いせるく と安美 あるの一方人ろれるによりうりをあったかっとめる なりれないりり かくてとおりしたもろとしてあるとう 多とわってんり ろのかしてあ ちったいからりからからないので るべきとせぬりっとしてれたとうないない 大ろうできるとうとうというなとるとろうにありてあるあるあるないのとう 後名なるないと一致はあるに後しいはの家できたかとう かうりにんろうちろれるりるれてとき くるからなるうろうという 我のまたりかのでくろうかのようななとる後機会 清をなとたのようなろう~~すにありまれる ありしているあまとうちんろうのからとと はく切るにはっているくとうりゅうをすり 多傷うるか行行行人的地力 はかのななな うたりとなるうりんいるいのんがくろうち とは後を接る機の声教也の方面があると あってしかありからとならんでしろいるり かりてはあるととなりしいからち かとうにていっとうりうううしまっていいるといれるとからは行 よりろうりをのうをとっているとしかる るのやいりろうなるはないというであれる とうりろうかうあれるかれ ( 5 している 養をうかかっととて するかかいし 幻かりかはします かりととかりとい ときないてるかかっている いなれっ けるとあくかりい ろいろか みる 15 かからも 3 をいり ってはる

きてちょうらかのがきまり スカイとくをしてるりととけん からぬりるしたわり くなりしとととうりた 変像のりをあり であめせるううとんとんととう 多年了了 公安里 多了了 日花りとめるとなるとうと なくうろうしょうくしょうう 後に向うしるかとうしかんなり あるかくとはいりとかりあときゅうときなり てからうしばとらうろううろう りのうんるのりしょこ きを明ねとのれてくれてきりしきおあてい としてりちたのとのの一方色又向ようち かずるではいろしとろかけりとく が大 したとはなと明ねとくいちらん が明ねとといれのをある いけるととうろう となるの気める ころのはちぬ けそかちきろう

がなべりたさくようりのろうちゃんせんい なるうろうとはるとくなっていからきろんなときゆ 妻子かりといき人行のかりとうであるはきとう でで探め出るむるりきなとねをはることが はとうやしてを表すして何しゅようりはそれ かちてくりといろしてきるとうときろうとう をしてはいるのうとを変なって何しいろうりから さりるきんありなくちんめのそれりている うてきなくしまとれてううしゃせんといろしぬり てなりりとめてのいろかととうとうなて、とろの ののなとしまくろうでせれているをでく みんとすしましてしていせんと 和松,我始了 のおおとはなべるのとと にろいまちょう みとるなかの 一部沿 一ろっきとい 5 からた

そりかいのうてこう的 あの傍ちをを さらしていりうからのうちのあるとのから 少さり名さく いるようのはるしてきによるにからい すうせそのせてりりという防養してつ する人のくりあるとうはとう 公奏うでありした中なまりありると が村る名を服るのてうめれるかり ちっとしていう人のあるれてありるり一巻できる をようなのちなるらぬしてもしてきるのはないよう なるなってきるうともううは勝の気と とかりくうちょうついけーことろうゆんといかけるとは それなどううととまの後と二春のろうろう はよりなうしぬりくをはのようであか をなるのうういうっておおってもとくとう中 ならのに然るろう RE しんうをつうし るるいちの やる

えこうなるりからあるむりしんときろうにろうりはれる 後とうかありるとれっているのでうかりのかのか 多数犯り人を強しるより人人的行行之子人 传播記りののある好政は称的とそ 務すれるかりしるあで降るべきりえ 後もろういっていてくとろりにかれるるとう とけらういろうことるかのいわせてうるとはこうとの ふかかんいろろうとありぬりていよう 古養了一多緣的他会中的孩子人為了这一人不可可 色きいうりとは多ちろしとう なる。親水の記まと うんのいとのるののれというううりゃんいまって あいろうろろとあるへしとうちろいしてなの 一気よううんできょううゆからはなどとは まないてるかりてくしあいっちとうれるるので とあくうりつくるはあるとうとうといるりつる くかのかとうくんめつ めるののって めるようです うなみる 4 235 かくしま

はよう人人的表面 名意名 けってるとうとしてをといるつれていいよ 解案打我也是的力但的民产品有 写成家代的为小部移 我会很有好人的人。 人名布拉人人传像教长 なるなってくろのきましているのこ あるいれるとうのできりとしているのとう 中るるというのかろううくのろうころという れてんとうりの名ううちのはまずんとかの ているなっとたろいはりにはあるちん さきちていようくのようころとのかんとより ゆうれとあれたあめ月よいほのあるとうきはのまちこまと 月からりいるようしかけらいちんのあるつちあるから おりんというととと 馬場なるはるよう を見たとろうようのあたろうにある月をあったろうと 石俊奉でるよう人のちとうのの民民的教了で好るからある んなど言います くめるるとはちき かといいいろうごろう くまたくいらきのなる かりつうか よたとろうとう 上上か

神的了的人多了的人在手的人的人意思的人人的人 秋中かいうくのろととうれるでえ なるであるりしているいうくしますりんとり は氏とうんかうくう 公司と他中が野服協民人会とていう後級にの中子に多かけ かいてきる人かのかってきてる 和泉武和外经的有病病多多人一人了多了了 かねいいろうとはりと一日からろうとく車は高とろうかの 3503 武アのはまかしている時、かんせちりのありのとと べるのはのかようのう うけてくちりつかんり れおりとはろんてそろうによりあるりはなんというというなん というからてろうでありにかとくしてあるれ したと事るよういき いるりにもいつかり してきつんと のめるをしたかん くには作いって 弘服令人 り車にちまってれる かること 夕からとい

のうとよりましたととかつまる

かとからせるか

りくる修言

うくとろうかりり後をいれくのは

ちらかりしてなりしせるかられるからな そろんいとくろうれろうしろ 美格と配とのなるらの面、格子ん 後いろ格1ードとうり 松中からうりたですってるるといけってきるををとう 必は気とうりしてうちろうなかりしろう よめいきとうりはしてるるではなるなっているからとうないからとうないまでしてるるのところをしてくいりしている 作ろとくのとつからからのとすれまち うるのがあとくうんのじとあれのおかしるかり 奥きかられる。親と多くそれあるのかとかきる るかとのねりうくるすりあれるとうまれめるも たちるからしのかえてきるかあれるとうちゅ 佐氏のおりのかっておるハハフレととつり中心また りのごうべいりろのあとるとは親のる いうとおのかんしろんきろうから 外のな カナクと

十金回に月 かせてなりであるとせろんともううしかり 多くなりにあるのるあるなるとるせるかと 多りの見のあっているとうせるからのある が販売よろ りんいろ 530

、色、個人一大大人大人也多的人。 おりしろうれからり とり行り ちちりとうういうかりもからいとうた なもとの氏に作をなとてはるにあっちくとろ 放大残打角壁影 菜人睛面打容色白成文集级美沙川之 してうのしをなっと 我多多の類なぞろろとはずりりて好後打 をうするらうるるって、薬と時気に二つとう りててる村のののところ機能 小知時の低 ないかられいとろう 路色四十

谷文花銘 を必ずる 弘農状三行 きろうなとうようなからにたずくてきる ういろうものかっと いろうりょくつ ありなるといめせん かりたちしてしているうれた かのうにろう一声からうけると くなかはしはうしてい は分う一次人人的格系代表人多人 八月的一周至了了的人答答答言一人用了名地色 多多的人们的成人人人的人 かばらしょかとはありついとうなられると新日 似夕多の行八月四周点色を行了時亡八月 かられてるのの 枪乐曼陀羅夏 白民文集云线西方慎横平 なるなくくやかりはというないんかか ととういきのはりまつかろうると ましていりたはなるつきつう るまうちんるりといせんある着極ること りてきいとうなるとあるれいをある 事ちねるあらってくった を父参いるのか 多ちぬける 医氏の短 めきつ

芝同廿三日化尼又東伴錦覆女人其龄三十計也化尼女敢調設運蓋百點許言畢去是故申下宣旨於近国祭年資設運 不空統經五午日同月廿四一化尼東日故見生身然絕若絕如来者永不出此寺器会無称名不退也信心切之故感六月十五日發一誓於一食好泰簽當麻寺我不見生身何 卷月二十一年一部奉為故李氏長师楊史人斌宿然有女子子弘農郡君姓楊号蓮必姓發額拾降財銀西方阿弥有女子受陀羅夏 白民文集云线西方慎養升序私公財共二 之多遊逐尚人同之亲禮為比丘尼受如東我 嚴立之志不後做求降土之望深是畫意意氣於乐依正二報當麻寺於乐勢陀羅緣起云右大官首原等中的好豊成女財離造者雜 召機君 愛者誰 楊走人 追宜就也乃至讚日 金方利 金色身 資至力 塞慕竭仰之餘年自書写称讀 降土經云云 天平宝字七

雲西去化尼暂留教爱相之切能於禪尼権化之同導安法縣字簽以禪尼相對爰化女織出易施羅置两人前懸之奉礼極息預出浸運系於其水條為絕雅之间寺乾角織横之奇安化尼道至綠云小去寺乾六町許乃至化人令堀彼清澤之地靈水蓮至綠云小去寺乾六町許乃至化人令堀彼清澤之地靈水 肝文岩抄

を分うしなりかんからなっていることのころのところう りんのはと

うくしししりりりあるし かくまに見 夢随魔できて 彼便かめいてんしまでういてなれてあ 美などはあってすっておかしまってるりるうとあれてきて たかりでもってきとはとめろう てすくはなどいりくまてあきめているなら ならろれくくいというととろうりんときくろう はをすいとろりり一般の板り一句なり!

色いうと多いめぬいりあしかくか されていているとうできるるといいかあろうれるよ おとにすていかというろうでありる 多のできじむるろうとうう 命ある でといううり まごれれてくにるのあ そんでうれんかりに 美にのありつうでるせかると 後此川的意理なりことの対しるみりる 異原の多場態場に合ゆりいしたかりたてきるわろ みしてくったからからする ら于土るつるんと多ちをいる鬼多 がりまいりくのでしまっているうと言い出れるちから 祖の到ばとうりっていっているうとあるあ かとろういうかきりてるとろわずりないるとあるるる おからいとううべたとるだんがくいろ 多くして しくたりつき ゆるちくる それとしたという と多りはぬ では いろでか

まってはまりようようしあるけるからろう 心のてりをはらりあり かいせりしせして なきくとあったいいはあるめれるできつう いるからからのそりにあったというかあるようのそりにあった いとあつきに 一个池中花是做更了越是被生人心了时代了 必何属の川的食い不的強之为のは經行所立念讚る 后時移夏去乐於逃來多春之日卷之後北蓮复風官怒秋為 なるといけるとというり女をかりくいちかられと は行くりうだして多くううかり 何的時移夏去一十二是了这大多小多几个一起的全 ことありまたりきとわめあるれるろれるう なならのとの世 終さ月し る月とうけん りかんろうと 0 3 1 夷的

いっているとなれてから 必么名ノるである一人家、同 送名"人会福 きとなったとうのというよからうちとかか あのうのいれていれるりんのでのは少りを 村谷の大きりたりたりなりまするとあるのとのと

つんくとあるきろりに多のりくようととかり けりてきるるととしてくくと地へしまいはたとうるならった 多いとなりついかあくに又何とろろのとと ゆんとうきろんしくうとなりしてあるる 多人爱鬼用出 我们把是来独既长服务

まるううなくというりとかるなれてはいっているでくってい のなっているからるのるあいるちゃってきるののなっているとう そのその彼いありかうかるかろ るりしかところりとろりかりん るとかはいくろる 多人一个人生生的一个人一个多人一个多人 がかったいるれてうり そってたるろうかりのできるろうん 見からちろうくう から回してきりしきだいしるーろ あっているとうとうのでものいめのとちゅうろううか 他色的人人的意思的多人多 美名居了屋里下面部与了了居然了了多多 圣慈被水晴爱知後 湖豚 美日 なろうがときゆうなとかきとかり うるとして出るのゆろしあでもはり なりはきるろうりりょうはこる からうりているうい きでんとれたしていていれい さくりかるなか 大のしてとはあされるきとうれるとろいか りろくてくからの一番のありりから をあいるありかりりりはなるありかかきこ をういきあれるのかってかりにとれのあれるをのあいへる 事がいっとううではらくうろのうろろくのう 我のとうゆくれの下去 建分了了一声的水 おううりできいろくなきとてのまるとう 一でいありといろすれのととうう多まい同名とと 多行を打名 るは気がなった 小るべかこあ いんのとしろ 松子家 经多少 一切のかそるしてか 西田といです らふない 中かれるとる るがからあった る事合 らうるは 多新 しんのとろん

かちられる中心をくかし おかえていいてからしるろうかろくろんかい ちりからうちゅうりまったのうまるるろうとる そのところのあいはくくと なとしろう 立るなりとりのく おもうくれとよりから 好を多い作色問題を物的していくからの るまるはとうせいによりことは気がその名と すかろり、幻教教をと 幻解名ですから 後はちかのかりたちの多名人かは同 事かのねつくりを重とりくとあったかり は有しなるちり方士が楊女にしるのでう が動を含いからいなするり電にとしてい 幻動されちるとろめつくさとうつやすり 紀長根我院的首でなる一等人のうと不 をもうるのの ナーのしまりりり きないろくろう を考るるというな を移 を指 山蓝坊之 うをあるい らとはつち

まくるとうのかりりょいろくろうのをした いましくちむとろこうところでしてるによるであるとろうというできないとうとうというできないとなっているできましいいできないとうといいいまするとのできないのできないのできないのできないのできないのできないの かしせていりかんをでるくろりよう いまってるるないとううるりない 放発 破院 医海 美の落ろうしてくりの後とろいう 多名信氏居居るりは対しとろくうり 美人意味は可以下一番名に一人ずにりよろ 松九人人人大多人了一个人一个人一个一个一个一个一个 を回答はつうによせていつりをみい月間で的名とき ゆうけらううしてくるなとしていては 和漢之先既不可勝計 一路了了了了你客了地去 出力いる一些人 海世長

をきいちしてれかりり

经餐车支門看

あるくのいっての風をとうとうとうなっての風をしているとうというとうというとうないとう なきありなりか なきなりくくなりのかられているようのかりとうなり 海族故人文示天元少尹文集文集一九十八多岁引人游子的人家俱逃且吟日黄楼谁知我白颜独念君唯招老年落一方分了八月五十八多岁了人 からせているようあうりない はずるかるかっ かくのあしとろのなくのなったるというとうのなってあるとうのなってあるとのなってあるとのなってあるとのなってある 死天山门集思神、花台、馆一个年级 れとかめくころうに うつか的教養な事るいりりくならところとま であるとうないりかないとく おくらく るりなってるとう をはとめる路 名军 奉沙 しとなったありんし それれ 十五经交 きむりてちり

ちるくちなりというとくなりなる名を教養動者也又德行功德本故也 所名為色と つきつかってからりいありか こいはけからなする とろうないならのかったはいりかくてす 一切十方三世諸佛三墜苦息国豊民安之東紀代明之承和二於原殿修色或天長七年十二月始有佛名版物度 を書いりめってかりり 今年 一般 各身餐中月一 寄生之 佛為板 初日後後門藥師著礼盤唱佛各軍獨杖又竹之 先仁天皇宝亀五年始之以見官来多類自十九日至廿一日 はどのあり一番のめたとあれと してうりにしてい 高いとる かるからし 一年 各經 記 五 礼 、そば行んう りとス天台ナカコロシ をあるの地とない

爱却十份

巴上秘養

松各级旅

一一一一一

本学のもろうきなしのであるころうころととくについ をうくの気ときりに多はくらし、それであるとなり を何にくるのろろ かららんしまかくるりくらし 了多多种的 ゆき場かりるとととなるはないのは氏の引きの方と 要之堡库的大公人 ありのすりつうとあすているっていろうたし 好なななるりんとからう 必然中化名之分二度了相解之的唇之人有料 よるうちん近中的和 出すれてはいっというしていまったりきろうのできる 中给所包美 博中序佛名分二多被暑指製分三夜门悉家酒者著預未也 君から山のありてしまるちょううちのちのよう 这年在大台经 延長十九年十十九日日の市任後八年 大一的人とは今日上出自一七年 あるるとうとうとうろうになってつるのでき よううちょうとうしまう の名なるあのかりかゆりん 書物であるもとあり、あとおりゆくても て電極とりであるいはいなとおりありるろう 律師賜所尚古少天曆四年佛名為師降窓之紀之间自營 所うくまではないなりくはなってもれるとうなる むりんとろんなある 赵錫杖信老人受取同侍出绵被於為師分子傷木 美哉~ いろるとろれ らいやうくろうりり があるますり 如白頸後紀公名極比白色 1つるないのゆるしていつうり 必绝我十九年公名祭師雲晴 るののの ほのなっくか世とれ 多くろう 爆行發標死 躯 525 らる

をはいり出めるれくの様としるしょありなか わかりてきり月間ときりあずにないまかせいりつきら らわかり いっただめてなりとれるをとからって 一般教からかのとうちとてのより、 あをのと 後とうなるため、日からてとりあ なきいるのののというと いる名はなれののんととるせてちゅうきあいるはははきる 地的的化分年でうりある一とて明らるると、養了至日 **维聚小児東坡** 先作燈色双文擊椅如此三及郡长相承和呼追之侍长相分明八不同長示永安 惟人亦泰陰陽師名祭読完文舉方相 日名多雄工板製をする烈限のとの男女房ようちのでで、殿内等四方駆逐を愛方相入自仙花门經序殿出北原華教 影准を考えるなった。ほとなる物でのうくらくしまなりませい たりりたけるよみりてみ とろう月旬をきろれずにと 追維後 禁中支一刻充右近五陣即風暴 ーでくるかくせてい で摘せ となるなるのよう まってくらん すんの かんていな 小うりもした 包

